

## 質 問 書

2023 年 12 月 15 日

「ベトナム国中部地域における洪水被害復旧および洪水対策マスタープラン策定プロジェクト」

(公示日:2023 年 12 月 6 日/23a00738)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p.7、12(資金協力本体事業への推薦・削除)及び p.14 脚注	本プレ F/S の中で有償資金協力事業を想定して詳細設計を行うとありますが、投入量やプロジェクト期間を考慮すると概略設計レベル以下の検討が妥当と考えますが、設計作業は伴わない、もしくは概略設計レベル以下の検討を行うという理解でよろしいでしょうか。 プレ F/S での設計レベルについて貴機構のお考えをご教示頂きたいです。	企画競争説明書第 1 章”12. 資金協力本体事業への推薦・排除”は誤りでしたので削除いたします。本プレ F/S は、通常、協力準備調査で行うような概略設計の前段となる、治水対策案の比較検討や費用便益分析等を行う想定です。
2	7 頁 12.	「本件業務は、有償資金協力事業に係る詳細設計業務を含みます。したがって、本業務の結果に基づき JICA による円借款事業が実施される場合は、「円借款事業のための調達ガイドライン」に基づき、本件業務の受注者(JV構成員及び補強等として業務従事者を提供している社を含む。)及びその関連会社/系列会社(親会社/子会社等を含む。)は、施工監理(調達補助を含む。)以外の役務(審査、評価を含む。)及び資機材の調達から原則排除されます。」とありますが、通番号 5 で質問させていただいたとおり、通常プレ F/S では詳細設計は行わな	企画競争説明書第 1 章”12. 資金協力本体事業への推薦・排除”は誤りでしたので削除いたします。本プレ F/S は、通常、協力準備調査で行うような概略設計の前段となる、治水対策案の比較検討や費用便益分析等を行う想定です。

		いと認識しております。本調査は”詳細設計業務を含むのか？含まないのか？”をご教示ください。	
3	p. 10-11 (1)プロジェクト・マネジメント・ユニット(PMU)の設置	「・・・、受注者は本プロジェクト開始後にベトナム側と PMU 及びタスクチームの運営方法や配置される担当者について、JICA へ報告・相談のうえ決定する。」 PMU はベトナム側主導で設置・運営されるものと認識します 「・・・、受注者は本プロジェクト開始後にベトナム側と PMU 及びタスクチームの運営方法や配置される担当者について相談し、JICA へ報告する。」との理解でよろしいでしょうか？	PMU 及びタスクチームの運営方法についてはプロジェクトの成果に係る重要事項であり、組織の正式配置についてはベトナムが決定することとはなりますが、その運営、責任範囲などについては、本業務受注者の積極的な関与・指導が必要になると考えています。本業務受注者には、業務主任者を中心に、事後報告だけでなく、ベトナム側との相談、意見具申、交渉などを期待するものであり、その内容については JICA とも適宜相談・協議のうえ決定することを想定しています。
4	p.14	本プレ F/S で求められる設計レベルは調査対象事業の概略設計レベルという理解でよろしいでしょうか。	本プレ F/S は、通常、協力準備調査で行うような概略設計の前段となる、治水対策案の比較検討や費用便益分析等を行う想定です。
5	14 頁	「本プレ F/S の中で有償資金協力事業を想定して詳細設計を行う」とあるが、通常プレ F/S では詳細設計は行わないと認識しています。詳細設計を行うと記載があるが、どのような設計レベルを想定されていますでしょうか。	本プレ F/S は、通常、協力準備調査で行うような概略設計の前段となる、治水対策案の比較検討や費用便益分析等を行う想定です。
6	P17 第 5 条報告書等 P31 5.	別紙 3 共通業務内容の項目 5 では業務完了報告書/業務進捗報告書の作成とあるが、第 5 条報告書等とは別に収める必要がございますか？	作成の必要はございません。

7	P18	<p>プロGRESSレポート、(4)インテリムレポート:「成果1」、「成果2」とありますが、これは何を指すのでしょうか？P13～14 に記載の「ステージ1」、「ステージ2」と読み替えればよろしいでしょうか。あるいは、配布資料「RD」に記載の「Output」がこれにあたるのでしょうか。</p>	<p>P13～14 に記載の「ステージ1」、「ステージ2」と同義になります。</p>
8	P.32	<p>別紙4 MP 策定における作業項目案で(9)設計基準の提案と記載されています。構造物対策等の設計基準を作成するためには、詳細に地形・地質調査や設計等を実施する必要があると考えますが、本件 MP で求められる設計基準の提案について、貴機構のお考えをご教示頂けないでしょうか。</p>	<p>ベトナムに適した MP 策定のために必要な項目であれば、内容も含めてプロポーザルでご提案ください。</p>
9	P.32	<p>別紙4 MP 策定における作業項目案に河床材料調査及び河床変動解析について記載があります。本 MP における河床材料調査及び河床変動解析の活動内容、位置づけについて貴機構のお考えをご教示頂けないでしょうか。</p>	<p>ベトナムに適した MP 策定のために必要な項目であれば、内容も含めてプロポーザルでご提案ください。</p>
10	p.38 定額計上 本邦研修	<p>直接経費及び報酬合計 5,945,000 円とありますが、報酬の対象は業務主任者(2号相当)を想定して算出されておりますでしょうか。また、直接経費として翻訳費は想定されておりますでしょうか。</p>	<p>報酬の対象は6号相当を想定しています。翻訳費は直接経費に含まれています。</p>
11	P. 36 2. 業務実施上の条件 (5) 対象国の便宜供与	<p>RD における記載からは読み取れなかったが、執務スペースはハノイではなく中部に設置されるのでしょうか。</p>	<p>執務スペースについては、ハノイとダナンになることを想定していますが、設置場所については最終決定していません。今後、ベトナム側と協議のうえ決定されます。本案件のコンセプトに鑑</p>

			み、MARD 本局との協議、技術移転、交渉等と、現地での調査、作業等のバランスを考慮の上、ご提案いただけますと幸いです。
12	P. 39 第3章 4. 見積書作成にかかる留意事項 (6) 旅費(航空賃)について	担当業務によっては、ダナンに直接渡航し、業務をした方が効率的と考えますが、ハノイまでの航空賃の見積になっているのはなぜでしょうか。	実施責任機関の所在地であるハノイを想定していますが、提示している経路(キャリア)以外を排除するものではありません。

以上